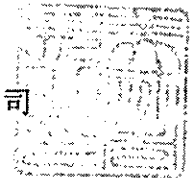




美建第 859 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

美祢市長 村 田 弘 司



今後の道路行政についての意見・提案の提出について .

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼になりましたこのことについて、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山口県美祢市

- ・ 地方には、改良の必要な「生活道路」が依然として多くあり、計画的な改良の推進が必要。
- ・ 歩道の「植え込み」は、その継続的な維持管理が困難で、多くのところで手が加わらず荒れている。荒れた「植え込み」は街の「景観」に良くない。街の「景観」に配慮した道路造りが必要。
- ・ 自動車道のインターチェンジから一般国道への接続の区間は、来市される観光客等へのその地域の第一印象となるので、地域の特性に合わせた整備が望まれる。
- ・ 車道にあるマンホールは、車の走行に支障があり、老朽化した路面同様、改良が必要。
- ・ 「小郡萩道路」が、美祢市美東町から萩市に至る延長30kmの地域高規格道路として、平成6年12月16日に一般国道490号を対象に計画路線として指定され、現在建設中であるが、完成すれば、中国自動車道との連結の効果と相まって、美祢市と山陰地方の交通環境が大幅に改善され、さらなる観光・地域振興が期待できるため、早期完成が望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

山口県美祢市

○現状 本市では、平成 20 年 3 月 21 日に 1 市 2 町の合併により新市が発足した。新市の行政運営の効率化、住民の一体感等からも、交通体系の整備として地域振興道路の整備、生活道路の整備、公共交通機関の充実を主要施策と位置けている。 1. 地域振興道路の整備・・・中国自動車道のインターチェンジ、東西南北に走る国道など、現代の車社会に対応した道路交通網の整備は着実に進んでいる。 2. 生活道路の整備・・・地域高齢化。 3. 公共交通機関の充実・・・現在 JR、バス路線、コミュニティバス等が市民生活に欠かせない貴重な足となっている。 4. 市道(国道、県道から市へ移管された道路も含む)維持管理について、地域住民から要望が多様化し増加している。また、高齢化の進展により、自動車での移動は不可欠なものとなっている。	○課題 1. 地域振興道路の整備・・・広域幹線軸を見据えた道路交通ネットワークの整備に積極的に取り組み、美祢市の主要施策である観光の振興に係る交通の利用促進を検討する必要がある。 2. 生活道路の整備・・・高齢者対策として道路施設のバリアフリー化に努めるとともに、安心して暮らせる「やすらぎ」に満ちたまちづくりに取り組むことが必要。 3. 公共交通機関の充実・・・マイカーの普及や少子化により、利用客が減少し、路線からの撤退、減便となり、交通不便地域が存在するようになった。このような、交通不便地域を少なくするために、新たな交通システムの確立を図り、日常生活を支える生活・幹線道路の整備が必要。 4. 日常生活を支える生活・幹線道路の維持補修経費増大に伴う財政圧迫。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

山口県美祢市

- ・ 安全・安心して暮らせるように動脈である道路を維持し、少子高齢化社会の中、高齢者にも安心して暮らせるまちづくりを目指す。
- ・ 観光を意識した地域の一体性を強化する体系的な道路網の整備
- ・ 新市北部地域の一体感を醸成する道路網の整備

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項 市民生活の快適性、経済活動の効率化	○代表事例 新美祢市の北部を東西に連絡する道路の整備を図る。	○期待する効果や評価等 新市の一体性を醸成するとともに、地域の安定性ある交通環境を構築する。また、観光拠点である秋吉台が県下全域の広域観光ネットワークに寄与し経済効果を期待する。	○その他
---------------------------------------	--	---	-------------